

●南極観測隊の仕事

・南極観測の目的？

1957-1958年に計画された国際地球観測年（IGY）では、未知の世界だった南極大陸を各国が協力し、観測・調査をすることから始まり、現在では空の低いところから高いところまでの気象観測、空気や水、氷の観測、石や生物の観測、海洋の観測、地球や宇宙の観測などを行い、オゾンホールや気温の変化からの地球温暖化のメカニズム解明等にも役立っています。

・隊員はどんな人たち？

雪や氷、寒い南極の海や陸上の生物、オーロラなどの宇宙、毎日の気象などの研究観測者と1年間の生活を維持するお医者さん、通信士、コックさん、機械・電気屋さんなど40名程度で越冬しています。

・日常の主な仕事は？

研究観測者は寒い中で氷、岩石、隕石等の研究資料の採集をしたり、気温などいろいろの観測をしています。
 設営担当者は発電機、電気設備、上水/汚水施設、車輛（雪上車）などの点検を毎日行っています。
 調理担当は毎日美味しいご飯を作っています。

・昭和基地の写真



●南極の自然（美しい南極を映像で紹介します）

・南極にも四季はあるの？

南極には四季はありませんが、一日中太陽が上がらない極夜（きょくや）の時期（冬）と一日中太陽が沈まない白夜（びゃくや）の時期（夏）があります。

・南極の自然の風景

大自然に広がる氷河・氷曝の美しさ。夜空に広がるオーロラの素晴らしさ。不思議な現象の蜃気楼・ダイヤモンドダストや昭和基地を襲う恐怖のブリザードの様子を映像で紹介します。

・南極の生き物

南極地域に生息している生き物（皇帝ペンギン・アデリーペンギン・アザラシ・雪どり・盗賊かもめなど）の様子を紹介します。

・南極の氷

日本から14000km離れた昭和基地周辺の南極の氷を展示します。空気が弾ける音が体験できます。

・昭和基地とオーロラ



・皇帝ペンギン



●展示物の紹介

南極の壮大な大自然の風景写真、南極の氷、石の標本、越冬隊が使用している防寒服など

●もっと詳しく知るために

インターネットURLの紹介
 本の紹介 など

<http://www.nipr.ac.jp/>